

## 認知症パートナーアクションガイドブック ～ともに生きる未来をつくる～を発行します

川崎市では、認知症のある人とともに暮らす地域づくりを進める取組の一環として、「認知症パートナーアクションガイドブック～ともに生きる未来をつくる～」を発行します。

本ガイドブックは、認知症サポーターや企業の皆さまをはじめ、川崎市にお住まい・お勤めの方々が、認知症のある人が暮らしやすい地域づくりに向けて、日常の中でできる具体的なアクションを考えるきっかけとなることを目的としています。

### 作成の背景・目的

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の趣旨を踏まえ、認知症を「支えられる側」だけの問題として捉えるのではなく、認知症のある人も含め、誰もが地域の一員としてともに暮らすという「新しい認知症観」の理解促進に取り組んでいます。

認知症は特別なことではなく、日常の中でのちょっとした気づきや声かけなど、一人ひとりの小さな行動が、認知症のある人とともに安心して暮らせるまちづくりにつながります。

本ガイドブックは、そうした「アクション」を後押しし、市民や企業、地域のさまざまな立場の方々とともに、「ともに暮らすまち」を考えていくためのツールとして作成しました。

### 概要（主な掲載内容）

- 第1章 元気になれる いきいきできる 10のキーワード
  - ・つながり、お話しする
  - ・得意なことや好きなこと
  - ・外に出かける
  - ・役立つ実感
  - ・思い出トーク
  - ・家族とすごす
  - ・美味しさを味わう
  - ・身体を動かす
  - ・ふわりとした癒し
  - ・穏やかな毎日
- 第2章 笑顔が生まれた事例集
- 第3章 具体的なアクションへ



### 地域での活用について

本ガイドブックは、市ホームページ（<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000185127.html>）に掲載し、広く市民の皆様に御覧いただけるようにしています。なお、冊子は作成部数に限りがあるため、市内の「認知症のひととみんなのつながるカフェ」（認知症カフェ）や認知症のある人や家族、地域住民が交流できるワークショップ、研修会などの場での活用を想定しています。冊子を活用した取組や研修の実施等については、各区地域みまもり支援センター地域支援課まで御相談ください。



ホームページはこちら

（問合せ先）

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 永井

電話 044-200-2484